

11月スト実現に向け「10・20三里塚」5000万人署名を全力で



85. 10. 5
No. 2056

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

全職場で怒りを反撃力へ

一回支部代表者会議で確認

第十回定期大会で決定された十一月末ストライキを中心とする第一次統一行動の貫徹にむけ動労千葉は十月三日、第一回支部代表者会議を開催し、職場・生産点での闘いの強化、「五千万人署名」（ひとり一〇〇人以上獲得）、10・20三里塚へ四度目の五割動員を実現することなどを中心とした当面する取り組みについて次のとおり決定した。

十月中にも各局別削減数発表

―首切り阻止の正念場！―

第十回定期大会以降、全職場で執行委員会、職場集会在開かれ、大会方針の徹底にむけた議論が進められている。

当局は、今日、①団交否定・拒否 ② 運転保安を一切無視した労働者へのしめつけ ③ワッペン処分、名札強要など労働運動を認めない、職場抵抗を許さないという凶暴な労働運動解体攻撃に出ている。

さらに、十月中にも、十万人首切りに向け、各局別、系統別削減数の概数を発表するとしているなど、具体的、現実的な攻撃を強行してきている。

こうした凶暴な攻撃への怒りを総力で組織し、全組合員・家族が火の玉となって決起することが勝利のカギである。

「当面する取り組み」について

1. 「五千万人署名」の取り組み
 - ① 総評が提唱する「五千万人署名」を県内一八〇万人獲得へ向け県労連・国労と共に推進する。
 - ② 「分割・民営化」反対の広範な声をつくりあげ、中曽根と対決する政治闘争として取り組む。
 - ③ 十一月スト決起と結合した闘いとして展開する。

④各支部主催の地域集会を成功させる。以上の立場から、一人百名の署名を集める。期間は十月十三日から十二月十五日までとする。

2. 「通対」および「無人駅」差しかえ、名札攻撃について

「名札をつけない者は帰さない」などの差別攻撃に対しては、「施策をやめる」ことを辞さず反撃する。

3. 京葉線の暫定開業について

①要員数 全体一六〇名、運転四五名、本線三〇名

②兼掌化については運転保安上問題がある。

③当面、動労千葉として希望調査を早急に行い、問題点についてつめる。

4. 10・20三里塚現地集会について

①十一月スト貫徹にとって決定的闘いである。

②年休闘争を含む最大限動員で取り組む。

5. 各支部大会を十月中に開催する。

訂正とおわび

九月二十八日付『日刊』第二〇五〇号（組合費公判報告）の記事中、以下の二点に誤植がありました。

- ① 本文上段九行目：（誤）「労基法」の精神ありました。
 - ② “ 上段の最後：（誤）「二月以降：」（正）「十一月以降：」
- おわびして訂正いたします。